

⑥私学校跡

明治6(1873)年、政変で下野した西郷隆盛は、鹿児島県の士族たちのため、この地に私学校を創設しました。西南戦争の際、この私学校の石垣に多くの銃弾が打ち込まれ、今なお激戦の様子を伝えています。



⑦鶴丸城跡

(鹿児島県歴史資料センター黎明館)

昭和58(1983)年、明治百年(昭和41)年を記念してオープン。鹿児島県の歴史、民俗や考古、美術・工芸についても充実の展示内容を誇る。敷地は薩摩藩主が代々暮らした鶴丸城の本丸跡にあたり、現在でも濠や石垣などにその面影をみることができます。



⑧西郷隆盛銅像

昭和2(1927)年、西郷隆盛没後50年を記念して建立が計画され、昭和12年に完成した銅像です。作者は郷土出身の彫刻家・安藤照。陸軍大将の正装の姿をうつしたもので、台座を含めた高さは14mあまりあります。



まち歩き
鹿児島市
かごしま

西南戦争激戦跡！西郷隆盛終焉の地を歩く



②城山展望台からの眺め

桜島や鹿児島市街地を一望できるのが魅力の城山展望台の歴史は古く、大正天皇が皇太子の時代、市街地を御覧される際に設置されたのがはじまりとされます。天気の良い日には、霧島連山や指宿の開聞岳も望むことができます。



③西南戦争薩軍本営跡(ドン広場)

西南戦争の際には、この地に薩軍の本営が置かれました。「ドン広場」の名は、その後この地に時報に利用された大砲が備えられたことからきています。



④西郷洞窟

明治10(1877)年2月、鹿児島城下を出発した薩軍ですが、九州各地で転戦したのち、8月に解散。その後西郷隆盛の一行は九州の山間地を越えて鹿児島を目指し、9月1日、再び城下に戻り、城山に立て籠もりました。西郷が最後の五日間を過ごしたのがこの洞窟と伝えられています。



⑤西郷隆盛終焉の地

明治10(1877)年9月24日未明、城山を包囲した政府軍は一斉に砲撃を開始し、薩軍は、敵陣目掛けて岩崎谷を駆け下り、最後の抵抗を示しました。西郷隆盛は腰と太ももに銃弾を受け、この場所で別府晋介の介錯によって最後を遂げたと言われています。



モデルコース

START

- 1 城山展望台 駐車場 00m
- 2 城山展望台 100m
- 3 西南戦争薩軍本営跡(ドン広場) 700m
- 4 西郷隆盛洞窟 750m
- 5 西郷隆盛終焉の地 400m
- 6 私学校跡 300m
- 7 鶴丸城跡(鹿児島県歴史資料センター黎明館) 400m
- 8 西郷隆盛銅像

GOAL

約2.7km